

2019年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日 時：2020年1月21日(火)18:00～19:35

場 所：聖路加国際大学 2号館2階 メディアルーム

議 長：片岡 弥恵子(委員長)

出席委員：片岡 弥恵子、鈴木 美穂、縄 秀志、小野 若菜子、小林 京子、青木 美紀子、小山田 恭子、
竹森 志穂、蛭田 明子、中田 諭、木下 康仁、中山 昌明、中村 めぐみ、墨岡 亮、横瀬 利枝子、
鐘ヶ江 眞知恵

欠席委員：高橋 奈津子、大久保 暢子、川上 千春、神里 彩子
(出席者 16人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査) 司会:委員長 片岡 弥恵子

① 宮内 愛 (助産学 博士)

「エルサルバドル都市部の施設分娩における Women-centered care に関する女性の認識」

研究責任者(宮内氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

② 端山 淳子 (看護情報学 博士)

「経口免疫療法の選択プロセスの実態と意思決定支援ニーズ調査」

研究責任者(端山氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

③ 菅原 啓太 (看護技術・基礎看護学 博士)

「食事摂取が進まない患者への朝食前に実施する手浴ケアの効果」

研究責任者(菅原氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 保留

2. 審議事項:その他の本審査

委員長より、審議事項(添付資料参照)について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により、承認となった。

3. 報告事項:新規申請の承認報告

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、添付資料の通り報告された。

4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、その他の報告

既に承認されている研究について、添付資料の通り報告された。

5. 委員長からの報告、連絡事項、検討事項

① 今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。

6. 事務局からの報告、連絡事項

① 「研究不正対応に関する取扱規程」について説明がされた。

② 迅速審査について連絡がされた。

7. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2020年2月18日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。

1.新規申請(本審査)(2020/1/21審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	判定
本審査	19-A084	食事摂取が進まない患者への朝食前に実施する手浴ケアの効果	看護技術・基礎看護学	博士	菅原 啓太	保留
本審査	19-A086	経口免疫療法の選択プロセスの実態と意思決定支援ニーズ調査	看護情報学	博士	端山 淳子	条件付き承認
本審査	19-A087	エルサルバドル都市部の施設分娩におけるWomen-centered care に関する女性の認識	助産学	修士	宮内 愛	条件付き承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において審議を行い、判定いたしました。

2020年 1月 21日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

2.審議事項:その他の本審査(2020/1/21審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	審査区分	判定
継続	15-050	聖路加国際病院に入院する高齢者を対象としたせん妄等予防プログラム Hospital Elder Life Program in St. Luke's International Hospital(HELP in SL)の開発と混合研究法による評価	老年看護学	教授	亀井 智子	本審査	承認
継続	17-A019	多世代交流型デイプログラム参加者に関する混合研究法を用いた心身社会的変化の長期的評価	老年看護学	教授	亀井 智子	本審査	承認
継続	17-A069	路加国際大学大学院修士課程特別講義「チームビルディング」履修者におけるアドベンチャーリーダーシッププログラム参加前後のチームビルディング意識の変化とチームアプローチ評価尺度の開発	老年看護学	教授	亀井 智子	本審査	承認
継続	17-A088	タンザニアにおける妊娠期のグループプログラム介入の効果:看護師と妊婦、および妊婦同士のつながりの向上	助産学	博士	岡 美雪	本審査	承認
継続	17-A094	地域特性に応じた保健活動推進 ガイドラインの開発-地区活動実態調査-	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ	本審査	承認
継続	17-A101	特発性肺線維症をもつ人々への「Dignity-Centered Careプログラム(DIGNITY-IPF)」の混合研究法による評価	3年次学士編入	助教	猪飼 やす子	本審査	承認
継続	17-A104	低出生体重児の家族支援のための保健師教育プログラムの開発—教育プログラムの試行と評価—	公衆衛生看護学	助教	永井 智子	本審査	承認
継続	17-A105	インドネシアにおける新生児蘇生法研修プログラムの開発および実行可能性検証のための比較介入パイロット研究	国際看護学	修士	加藤 美佳	本審査	承認
継続	18-A010	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中高齢者の退院先選択のための意思決定ガイドに関するクラスターランダム化比較試験:意思決定の葛藤と参加への効果	看護情報学	博士	青木 頼子	本審査	承認

継続	18-A049	サクラセルエキストラクト、ユズ精油を用いた芳香浴による ストレス緩和効果の検討	看護技術学	准教授	大久保 暢子	本審査	承認
継続	18-A055	就業後に注意欠如・多動症と診断された人が情報を得て共同意思決定 の手法で治療方針を検討するプロセス - 治療選択の手引きの有用性の検討	精神看護学	博士	青木 裕見	本審査	承認
継続	18-A081	課題名公開不可	助産学	博士	松永 真由美	本審査	承認
継続	18-A097	妊娠後期からの継続したアロマセラピーが精神状態に及ぼす影響:パイ ロットスタディ	助産学	客員研究員	高畑 香織	本審査	承認
継続	18-A098	熟練看護師が実践する「安楽」なケアのモデル化 ～各看護領域を対象としたインタビュー調査～	基礎看護学	准教授	佐居 由美	本審査	承認
継続	18-A099	急性期失語症患者と家族に対する心理ケアガイドの検討～インタビュー 調査を通して～	看護技術学	准教授	大久保 暢子	本審査	承認
継続	19-A007	課題名公開不可	助産学	博士	岡津 愛子	本審査	承認
継続	19-A008	妊娠糖尿病女性に対する多職種連携・継続支援に対して専門職が認識 する支援の実際と課題:インタビュー調査	助産学	博士	松永 真由美	本審査	承認
継続	19-A011	小児がんの子どもと家族のがんに関する情報ニーズの調査	国際看護学	博士	山路 野百合	本審査	承認
継続	19-A013	看護系大学助教のキャリア・ラダーとその活用方法の開発	看護教育学	教授	小山田 恭子	本審査	承認

継続	19-A019	妊娠期の父親への支援プログラム開発のための実態調査	ウィメンズヘルス	博士	小嶋 奈都子	本審査	承認
継続	19-A029	安心して就職できる事業所要件の作成について	在宅看護学	教授	山田 雅子	本審査	承認
継続	19-A033	「妊娠糖尿病のセルフマネジメント行動を促進・阻害する要因：インタビュー調査」	助産学	博士	松永 真由美	本審査	承認
継続	19-A038	A有料老人ホームにおける“エンディングノート”を用いたAdvance Care Planningプログラム	公衆衛生看護学	博士	松本 佐知子	本審査	承認
継続	19-A039	周産期におけるうつ・不安予防にむけた認知行動療法を活用した介入プログラムの実行可能性の検討	助産学	博士	岡津 愛子	本審査	承認
継続	19-A041	周手術期に集中治療室に入室経験のある患者家族の意思決定の現状とアドバンスケアプランニングに関するニーズ調査	急性期看護学	博士	山本 加奈子	本審査	承認
継続	19-A046	東日本大震災後に5年以上の支援経験を持つ外部保健医療福祉専門職の体験	精神看護学	博士	岡本 典子	本審査	承認
継続	19-A055	インドネシアの助産学生に向けたチーム基盤型学習を用いた産後出血に関する学習効果：準実験研究	助産学	博士	Ulfa Yunefit	本審査	承認
継続	19-A062	産後の残尿量と排尿状態の経時的変化	助産学	博士	川添 いづみ	本審査	承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において審議を行い、判定いたしました。

2020年 1月 21日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

3.報告事項:新規申請の承認報告(2019/12/17~2020/1/20審査分)

承認番号	課題名	所属	職名	氏名	担当者意見	判定
19-A079	看護基礎教育における糖尿病の語りをいかしたセルフマネジメント支援教材の開発	慢性期看護学・ がん看護学・緩和 ケア	准教授	高橋 奈津子	問題なし	承認
19-A081	保健師の倫理的実践を促進するための実装研究:倫理的課題と倫理的支援環境に関するインタビュー調査	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ	問題なし	承認
19-A082	自治体における「動物との共生」を重視した地域づくり	公衆衛生看護学	准教授	小林 真朝	問題なし	承認
19-A083	動物との共生を基盤としたCommunity Developmentモデルの構築:動物との共生と地域参加に関する質問紙調査	公衆衛生看護学	准教授	小林 真朝	問題なし	承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2020年 1月 21日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

4.報告事項:既承認研究の軽微な変更、その他の報告(2019/12/17~2020/1/20審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	担当者 意見	判定
変更申請	17-A088	タンザニアにおける妊娠期のグループプログラム介入の効果:看護師と妊婦、および妊婦同士のつながりの向上	助産学	博士	岡 美雪	問題なし	承認
変更申請	17-A098	漢方医学を学んだ看護師の看護実践の体験	在宅看護学	博士	江口 優子	問題なし	承認
変更申請	18-A078	インドネシアの妊娠中の女性の家庭内受動喫煙を予防する、コミック教材を用いた介入の効果:ランダム化比較試験	国際看護学	博士	稲岡 希実子	問題なし	承認
変更申請	18-A094	2型糖尿病治療の中断の時期を有する人を対象とした「糖尿病とゆるやかにつき合っていく」ことを助けるケアプログラムの開発	成人看護学	博士	米田 昭子	問題なし	承認
変更申請	19-A010	AYA世代にある小児がんサバイバーの移行期ケアの現状と課題	慢性期看護学・がん看護学・緩和ケア	准教授	高橋 奈津子	問題なし	承認
変更申請	19-A033	「妊娠糖尿病のセルフマネジメント行動を促進・阻害する要因:インタビュー調査」	助産学	博士	松永 真由美	問題なし	承認
終了報告	16-A049	市民のヘルス・リテラシー向上をめざした参加型学習プログラムの評価ー健康情報へ適切にアクセスし、評価できる力に焦点をあててー	PCC実践開発研究部	准教授	高橋 恵子		
終了報告	17-A088	タンザニアにおける妊娠期のグループプログラム介入の効果:看護師と妊婦、および妊婦同士のつながりの向上	助産学	博士	岡 美雪		
終了報告	17-A103	早産児を出産した母親へのEarly Essential搾乳ケアに関する看護者向け教育プログラムの効果	助産学	博士	田中 利枝		
終了報告	18-A005	経膈分娩後の褥婦に対する骨盤底筋訓練指導方法の比較-経膈触診と経腹超音波によるランダム化比較試験-	ウィメンズヘルス	博士	池田 真弓		
終了報告	18-A033	周産期領域の看護者を対象としたDV被害者支援に関するE-learningの開発と評価:ランダム化比較試験	助産学	博士	丸山 菜穂子		
終了報告	18-A065	妊婦の妊娠後期から産褥早期の唾液オキシトシン値の変化と産後疲労感とマタニティブルーズとの関連	助産学	博士	宍戸 恵理		
終了報告	18-A066	インドネシアの妊娠中の女性の家庭内受動喫煙を予防するコミック教材の評価:質問紙調査	国際看護学	博士	稲岡 希実子		
終了報告	18-A069	自然分娩・無痛分娩を選択する女性への意思決定エイドの効果:非ランダム化比較試験	助産学	博士	宍戸 恵理		
終了報告	18-A088	うつ症状を有する高齢者の包括支援プロジェクト	公衆衛生看護学	博士	持田 恵理		
終了報告	18-A093	プラセボ対照二重盲検ランダム化比較試験の治験参加を検討している方のための意思決定ガイド(試作案)の内容適切性評価	看護情報学	博士	藤田 美保		

終了報告	19-A018	手術室内での早期母子接触に対する医療者の障壁	助産学	博士	五十嵐 由美子		
終了報告	19-A023	リプロダクティブヘルス教育改善に向けたからだへの関心の基本調査: タンザニア・バガモヨ県内小学校	助産学	修士	由利 紗織		
終了報告	19-A025	ラオス学士看護学生のクリティカルシンキング力評価ツールの開発	助産学	博士	橋本 麻由美		

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2020年 1月 21日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子